

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の 中期計画の変更の概要

(1) 変更の理由

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園（以下「のぞみの園」という。）に対する中期目標における「施設・設備に関する計画」の指示（施設整備や改修等については、適切な支援サービスの確保に留意しつつ、施設利用状況、社会経済情勢を踏まえ、その必要性や経費の水準等について十分に精査すること）を達成するため、平成22年度第1次補正予算において、寮舎等空調・給湯設備改修等工事に係る予算が計上されたことに伴い、中期計画を変更した。

【工事概要等】

法人内にある寮舎等の空調・給湯設備については、ボイラーによる旧来型の一極集中管理を行っており、中央のボイラーから蒸気管を通じて、法人内にある各建物へ送っているところである。このボイラーについては、平成7年に更新した設備のため耐用年数を過ぎており老朽化が激しく、熱源のロスや点検作業に多大な経費を要しており、また、政府が進める二酸化炭素削減計画に貢献できない状況となっている。このため、各寮舎等ごとにエネルギー効率の優れた給湯システムやヒートポンプ方式(エアコン)による空調・給湯設備への切り替えを順次実施することとし、平成22年度より3カ年かけて設置することとしていたが、予想以上に経年劣化による損傷が認められたため、緊急に整備をするものである。

(参 考)

平成22年度第1次補正予算額	558,000千円
----------------	-----------

(2) 認可日

平成23年2月8日

(3) 工事発注方法

一般競争入札（3月23日入札予定）

(4) 工事の施工状況

設計が終了し、現在、工事の入札公告中